

# 剖析析日语常用表达式

聂中华 编

四川大学出版社

书 名:剖析析日语常用表达式

作 者:聂中华

出 版 社:四川大学出版社

出版日期:2005年12月

I S B N:7-5614-3296-8/H364

定 价:32.00元

# 前 言

《剖析日语常用表达方式》主要从语法、语义、语用三个层面对因果、转折、条件、并列、选择、递进关系的表达方式进行了深层次的剖析，明确了每一具体表达方式的语法、语义特点，并对近义表达方式进行了比较。

日语语法学是我国日语教学和研究的重要课题，语法学知识掌握如何将直接影响学生日语水平的提高以及持续发展的可能性。然而，长期以来语法的课堂教学只是介绍日语语法的系统构成及用言的活用变化等表面上的知识，某种程度上是重复精读课的部分内容，很少涉及到语法深层次的知识，因而往往就造成了学生对日语的表达式似懂非懂，在运用中常常出错，对近义表达方式无法区别，各种考试中表达方式这一方面的内容失分率也很高。本书注意吸收日本及国内学术界的最新研究成果，总结了笔者在长期的教学实践中积累的研究心得；分析有关日语常用表达方式的体系、构成、以及语法、语义方面的特点，能够让读者系统了解日语常用表达方式的全貌。本书在写作过程中注意结合学生学习中的难点，以一些典型的语言材料为例，通过分析、比较等具体方法，帮助学生理解日语常用表达方式的本质和功能，掌握相关理论，培养学生准确熟悉地运用语言材料和进行科研的能力。

本书可供高等院校日语专业课教学使用，也可作为日语教学工作者的备课参考书，还可作为日语自学者的参考学习用书。

在本书的写作过程中得到了日本著名学者鹿儿岛大学教授松尾善弘先生的悉心指导。解放军外国语学院教授、教育部外语教学指导委员会成员许宗华先生对本书提出了宝贵意见。本书的编写同时也得到了日

## **前 言**

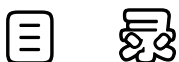
本友人、著名社会活动家八塚住子先生及笔者在北京日本学研究中心学习时的学生王琳晓、江云琴的热情帮助。笔者去年在日本国际交流基金浦和日语国际中心研修时，中心专任教师长坂水晶先生对笔者的构思提出了许多建设性意见，中心图书馆的工作人员为笔者查找了大量资料。四川大学出版社外语编辑室黄新路主任为本书的出版也付出了大量的心血。在此谨向以上各位先生表示衷心感谢。

由于本人水平确实有限，加之仓促成书，难免会有错误与不足之处，恳切地希望专家和读者给予批评与指正。

### **作 者**

2004年11月写于日本浦和

2005年5月改于浙江工商大学



## **第一章 因果关系表达方式**

- 第一节 因果关系表达方式的语法分析 /1
- 第二节 因果关系表达方式的语义特征 /63
- 第三节 因果关系关系表达方式的语用特征 /71
- 第四节 因果关系表达方式的时态 /73

## **第二章 转折关系表达方式**

- 第一节 转折关系表达方式的语法分析 /81
- 第二节 转折表达方式的语义特征 /120
- 第三节 转折关系表达方式的语用特征 /122

## **第三章 并列关系表达方式**

- 第一节 并列关系表达方式的语法分析 /127
- 第二节 并列关系表达方式的语义特征 /183

## **第四章 条件关系表达方式**

- 第一节 条件关系表达方式研究的概况 /193
- 第二节 典型条件关系表达方式的意义 /211
- 第三节 其他条件关系表达方式的语法分析 /242
- 第四节 条件关系表达方式的语义特征 /271

## **第五章 递进关系表达方式**

- 第一节 递进关系表达方式的语法分析 /279

第二节 递进关系表达方式的语义特征 /293

## **第六章 选择关系表达方式**

第一节 选择关系表达方式的语法分析 /299

第二节 选择关系表达方式的语义特征 /305

## **第七章 接续词与复句表达方式**

第一节 复句表达方式 /321

第二节 句间关系标志复现现象 /325

第三节 对复句句间语义关系的认识 /335

**附录一 日语句末表达方式分析** /341

**附录二 研究用例** /427

**参考文献** /493

# 第一章

## 因果关系表达方式

因果关系通常指各种各样的因果聚合现象。客观事实中存在的因果肯定属于因果聚合关系。强调主观认识的推论性因果也属于因果聚合关系。已然性因果，期盼性因果也都属于因果聚合现象，也就是说只要甲乙两事态之间存在因与果相互顺承的关系，都是因果关系。本章主要探讨因果关系表达方式的语法、语义、语用特点。

### 第一节 因果关系表达方式的语法分析

因果关系表现中最典型的表达方式有：“A から／ので、B。”、“A て、B。”、“A おかげで／せいで、B。”、“A ものだから、B。”、“A もので、B。”、“A ものだから、B。”、“A ことだから、B。”。

#### 一、A から、ので B。

##### 1. 形式特征

から接在动词、形容词的断定形，形容动词的词干、名词+だ（だった）后面。ので接在动词、形容词的断定形、形容动词的词干、名词+な（だった）后面，在比较正式的交谈中和书信中，から、ので都可以接在です、ますの后面，也就是说から、ので表达方式包括了陈述原因或理由的原因分句，接续助词，用于陈述结论、结果的结果分句。



## 2. から意义和用法

### (1) 原因、理由。

分句所描述的事态是引发主句所描述事态的原因、理由。

- 不安があるから、実際に会議やスピーチでうまく話せない。  
/正因为心存不安，所以一旦开会或需在会上讲话时就不能顺达流畅，随心所欲。
- まず、まじめで責任感が強い。律義でハツタリとか風呂敷を広げるということをしない。完全主義者でもあるから、仕事はあくまで完璧に仕上げようととことん頑張る。/首先，这些人非常认真，责任心强。而且生性耿直，不做那种虚张声势，大吹大擂之事。同时，他们也是完美主义者，所以在工作上力争做到尽善尽美，无可挑剔。
- 心がひとつのことにとらわれているから、新しいアイデアも浮かばず、判断力、行動力も鈍る。/因为自己的注意力全都集中到一点上，不仅想不出什么新的主意，而且判断力、活动能力变得迟钝了。
- 自分も声を低くするから、声を低くしてもらいたいといった表情だった。/他的表情似乎在说：既然我如此小声，请你也别再粗声大气好了。

### (2) 判断、认识的根据。

- 雨が降ったから、道がぬれているのだろう。
- 雨が降ったから、道がぬれているだろう。
- しかし、それぞれ機能の異なるものであるから、中国人の頭の中では、二つ以上に同時に属していることは、少しも矛盾ではなく、当然という考えにたっている。/在中国人的头脑中，所隶属的两个以上的集团，只是功能上的不同，因此，隶属于不同



集团的事情是自然而然的事情，并无什么矛盾。

当主句表达说话的判断时，分句可以认为是表示原因，也可以是表示理由。句“雨が降ったから、道がぬれているのだろう。”是因为说话者看到“道がぬれている”这一客观存在的事实，从而推断“雨が降った”这一理由。句“雨が降ったから、道がぬれているだろう。”并不知道是否出现了“道がぬれている”，但知道已经下雨，以此为判断的依据，推测“道がぬれている”。句“しかし、それぞれ機能の異なるものであるから、中国人の頭の中では、二つ以上に同時に属していることは、少しも矛盾ではなく、当然という考えにたっている。”中分句并不是引起主句事态发生的原因，而是表示主句判断的依据，表示判断的依据时，主句可以出现表示判断的各种形式，如：ようだ、らしい、はずだ、かもしれない、にちがいない、だろう。

表示判断的根据时，有时主句的事态是导致从句事态产生的根据。

●頭痛がしなくなってきたから、薬が効いてきたようだ。

应该说“薬が効いたから、頭痛がしなくなった”。像这样表示判断的依据时，从句表示的理由原因和主句所表示判断的依据时，从句表示理由、原因和主句所表示的判断内容的时间关系要依情况而定。

からの句末常出现推测、意志、见解、命令、依赖、责问等语气。  
例如：

●日本のお喋りの楽しさは、実にこうした条件において最高である。お互いの気分のおもむくままに話は流れ、非論理的であるから、内容は当然（インテリの場合でも）知的なものではないかもしれないが、これは一種のリラクセーションとして、大いに社会生活上貢献している、といえよう。/这种谈天说地，是日本人交谈的最大乐趣所在。大家的话题如流水，是非理性的、非逻辑思辨的。虽然没有什么高雅的内容，但作为一种消遣的方



## 第一章 因果关系表达方式

式，可以为人们的社会生活平添乐趣。

- 私は淋しくても年を取っているから、動かずにいられるが、若いあなたはそうは行かないのでしょう。/我孤独是因为上了年纪，不能活动，可你还年轻，这样是不行的。
- 慈海は慈念の師匠であるから、慈念が、いくら押しだまっても、相通ずる何かがあったのだと思う。/慈海是慈念的师父，慈念无论如何沉默寡言，互相间总还是说过些什么吧。
- もともと器用な連中であるから、喜助の仕事をわきで見ながら、すぐにおぼえてしまう。/这几个人本来就很灵巧，他们一边看着喜助怎么操作一边跟着学，很快就学会了。

句子的语法表达方式中往往体现出说话者的主观态度，也就是说说话者的主观态度以一定的语法形式体现出来，当说话者要使自己的主观认识、判断、态度更加令人相信、增加可信度时，往往需要在句子中体现出表达根据、理由的信息，这时，往往用から来表示。例如：

- この時、円は 16.88% 切り上げて 1 ドル 308 円となった。日本は 360 円に慣れていたので、これからどうなるのかと心配し、大騒ぎした。/当时，日元升值 16.88%，1 美元=308 日元，日本人已经习惯了 1 美元=360 日元的汇率，所以对今后的形势感到忧虑，慌乱不堪。
- 借金して買った場合は金利を払い続けなければならないから、企業なら倒産、個人なら破産にしまう。/如果是用贷款买的，那么利息还要一直付下去，因此企业就会倒闭，个人也要倾家荡产。
- 被害者意識は感情的なものだから、はげぐちとして、会社や上司への不平不満を口にする。/并且，受害者意识是一种感情化的东西，所以它便成为一个出气口，发泄对上司、公司的不满情



绪。

- これはもともとムラの組織への帰属意識の強い日本人の特性でもあり、それが会社への忠誠心にもつながるから、一概に悪いともいえない。 /其实,这也源于日本人的固有特性,即是古代日本人对村落这类群体组织的强烈的归属意识于今的反映。它也关系到职员对公司的忠诚,所以说,我们不能予以一概否定。

### 3. のでの意义

のでの主句通常是客观性较强的叙述。

(1) 对社会现象的记述。

- 河川法が改正されてからは、河川の所有者である国が負担する建前になったので、民間は費用をまったく担しなくてもよいことになった。 /据修订河川法后的立法原则,这些费用改为由河川的所有者即国家来负担。结果民间就不负担任何费用了。
- いまでさえ、都内では車の能率が悪く、危険なので、車を買っても、それをあまり使わずに飾っておく人が多い。 /目前,东京因汽车效率低、行车危险,故很多人买了汽车,常是备而不用,作为装饰品。

(2) 生理现象描写。

- 擦れた皮膚の一端を爪先で摘まみ、そっと引張ると少し痛いので、自分の顔ではあるなと思った。 /我用手指尖掐住皱起来的皮的一端轻轻地一撕,感到有一点痛,这才知道原来是自己的脸啊!

(3) 对自然现象、物理的现象的记述。

- 山に近いので、昼間はひどく暑い。

(4) 对感情、感觉等心理状态的客观描述。



## 第一章 因果关系表达方式

●八千代も、病室の真ん中に立っているのは変な具合だったので、洋菓子の箱を持ったまま、曾根の立っている同じ窓際にいった。  
/八千代也觉得不便直挺挺地站在病房中间，便仍然提着糕点盒，走到曾根站立的窗口。

●おれは嬉しかったので、思わず手をぱちぱちと拍った。/我很高兴，不由得巴嗒巴嗒拍了几下手。

(5) 对行动的客观描写。

●幸い市民体育館が近いので、週に一二度はプールへ泳ぎに行きます。  
/幸好附近有个市民体育馆，我一星期里有一两次到那儿去游泳。

●人間は自尊心を免れ得ず自惚れから脱しきれないので、他人の評価に当っては必ず測定を誤る。  
/人都免不了有自尊心，而且又不可能完全去掉骄傲自负的坏毛病，所以在评价他人时，往往会产生偏差。

(6) 对事物状况的描写。

●爆撃によって高い建物がなくなったので、首相官邸のある小高い丘からは、はるか向こうの東京湾を見渡すことができた。  
/高层建筑已被轰炸得片瓦无存，站在首相官邸的高岗上可以远望东京湾。

从上面用法不难看出，ので强调客观性，即客观存在的客观因果关系，当然在礼貌体句子中，ので主句也会出现主观态度的表达方式，如“危険ですので、お上がりください。”。但总的说，这种形式不是很多，也就是ので所表述的因果关系超越说话者的个人认识而被大家所公认。即原因是因为有结果而成其为原因，结果是因有原因而成其为结果。这是现实中相伴而生的因果关系。



#### 4. から、ので的不同

(1) 上面的分析已经指出, から所描述的因果关系往往是因为说话者个人的主观判断、认识而形成的, 因此主句可以出现伴随说话者态度的语法表达方式, 而ので所描述的往往是超越说话者个人的主观判断, 其因果关系得到人们的认可。因此, ので句不会出现体现个人主观态度的语法表达方式。

- 又始まった！ 讓治さんがそんな眼つきをするから、あたし尚更からかってやりたくなるんだわ。 / 又来了！做出这种表情，我就更想捉弄你了。
- 何かいったようなので、弟子たちはのぞきこんで耳をかたむけたが、「さと」ときこえたようであった。 / 他好像有什么话儿要说。弟子们的眼睛都注视着他的嘴，侧着耳贴近，隐约听见他在叫唤“里子”的声音。

(2) から接在终止形后面, ので接在连体形后面。

- 「奥様、そんなに御心配無く——猪子君は私が御預りしましたから」と弁護士が引受顔なので、細君も強いてとは言えなかった。 / “夫人，您放心好了，猪子兄就交给我啦。”律师显得很有把握，她也就没有再说什么。
- 卒業してから八日目に校長が呼びに来たから、何か用だろうと思って、出掛けて行ったら、四国辺のある中学校で数学の教師がいる。 / 毕业后第八天，校长派人来叫我，我想大概有要紧的事。到那里一看，原来四国地方的一所中学需要数学教师。

(3) だろう、でしょう、まい等只能接在から后。

- 弱虫は親切なものだから、あの赤シャツも女のような親切ものなんだろう。 / 大凡胆小鬼都很亲切，所以那位红衬衫也像女人般和善。



## 第一章 因果关系表达方式

- まあ、師範校を辞めてから、あの先生も勉強したんでしょう。妙な人物が新平民なぞの中から飛出したものですね。 / 他辞掉师范学校工作后，又奋斗了一段时间。真没想到在新平民当中居然有这种奇怪的人物跳出来！
- それに、生徒の人望があるから転任や免職は学校の得策であるまい。 / 再说，他在学生中威望很高，将他调任或免职，对学校都很不利。

(4) から可以扩展为からこそ、からには、からといって、からか、ので不行。

因为から强调说话者个人的主观判断，因此即使是描述过去事态，也不能用“からだった、からでした”的形式。

(5) から、のでの区别可以概述如下：(引用日本语法学家永野贤的观点。)

「から」は後件に対する理由や根拠を主観的に説明するものであり、いわば、後件がテーマで、前件がその解説である。「から」で結び付けられる前件、後件は元来二つのものであって、それが話し手の主観によって、原因、結果、理由、帰結の関係で結び付けられる。さらに言えば、その結びつきは話し手の判断作用によるものであるから、それについては話し手の主観が十分の責任を持つ、という意味合いのものである。

「ので」は事柄のうちに因果関係に立つ前件、後件が含まれていて、それをありのままに、客観的に描写する場合に使われる。因果関係に立つことだから二つのものであっても、その全体を一つの事態(一連の事件)として、何の主観的な変更も加えずに叙述する。裏から言えば、「ので」で結び付けられるものについては主観の責任がないという意味合いのものである。



## 二、A て、B。

### 1. 形态特征

动词、形容词的て形、形容动词的词干、名词＋て有时可以表示原因、理由。在比较正式的对话中，书信中也会出现“まして、ませんで、でして、ではありませんで、ではございませんで”的形式。

原因分句的主语和结果主句的主语不一致时，原因分句的主语只能用が，不能用は。

●わたし、変な夢見ました。貴方がヒマラヤへ行くといって、わたしに交渉している夢ですの。 /我做了个怪梦。梦见您要去登喜马拉雅，跟我商量来着。

●母が病気で、私が料理を作った。 /妈妈生病了，所以我做饭菜。  
て形、连用形表示原因、理由时，主句通常是叙述性语气，表达说话者态度的表达方式不能出现在句中。

●日本語を勉強したくて、日本に留学した。

●日本語を勉強したくて、日本に留学しよう。(X)

主句为否定表现时，原因分句可以出现ないで、なくて两种形式，一般说表示非意志动作用なくて，表达意志性动作の場合时，用ないで情况要多一些。

●間に合わなくて、すみませんでした。

●全然おて伝いしないで、すみませんでした。

●広島市街の様子についても部分的にしか説明のしようがなく、全貌について説明することが出来なかった。 /広島街上的情况，我也只能说出一部分，整个的情况，我说不出来。



## 2. 意义与用法

众所周知，“て形”也可以表示原因、理由，在“ありがとう、すみません、おめでとう”等表现说话时说话者心情的寒暄语前，表示导致产生这种心情的原因时，多用“て形”，而且主句所描述的事态通常不是说话者可以控制的。

- 遅くなってごめんね。
- 合格できて、うれしい。

本来“て形”连接两个事态，表示先后的继起关系。当两个事态的主体不一致或者表示同一主体的意志性事态时，一般不表示原因、理由而表示并列关系或继起关系。

- みんな申し合わせたように椅子を背後に倒して、眼をつむっている。 / 都不约而同地背靠椅子，闭目合眼。
- 八千代は品のいいしま柄のネクタイを抜き出して行って、父の首に当てがってみた。 / 八千代拉出一条条纹高雅的领带，往父亲脖颈上比量。

一般连用形不表示理由、原因，但在书信或郑重的对话中可能表示原因。

- わざわざきてくださって、ありがとうございました。
- わざわざきてくださったから、ありがとうございました。(X)

在“ありがとう、すみません、おめでとう”等表示说话者心情的句子前面，一般只用“て形”，不用から、ので。

## 三、A からは／のだから／以上／上は、B。

### 1. 形态特征

“のだから(のですから、んだから、んですから)”接在动词、形容词的简体结构，形容动词的词干、名词+な(だった)后面。



“以上”多接在动词的简体结构后面,也可以接在形容词的简体结构,形容动词的词干、名词+である(だった)后,“からには”、“上は”多接在动词的简体结构后,也能接在形容动词词干,名词+である后面。

- 参加を決めた(以上/からには/うえは)優勝を目指してほしい。  
/既然决定参加,当然希望能赢。
- おまえは神の僕であるからには、世間を惧れる必要もなからう。  
/尔既为上帝的从仆,则不必畏惧世人。
- 読みにくいかも知れないが、これでも一生懸命にかいたのだから、どうぞ仕舞まで読んでくれ。/也许你看起来很费劲,可这是我费了最大气力才写出来的,请你把它看完了吧。
- 聞くと田中は既にこうして出て来た以上、どうしても京都には帰らぬとのことだ。/一问,得知田中声称既然已经从家乡出来,就怎么也不想再返回京都了。

“A のだから、B。”分句的主语和结果主句的主语不一致时,原因分句的主语能用は。但“A からには、いじょう、うえは、B。”分句的主语不能用は。

- おれの頭はあまりえらくないのだから、(からにはX/以上X/うえはX) 何時もなら、相手がこう云う巧妙な弁舌を揮えば、おやそうかな、それじゃ、おれが間違ってたと恐れ入って引きさがるのだけれども、今夜はそうは行かない。/我的头脑不灵光。要是平时,经对方这样花言巧语一摆弄,我就立即觉得自己不对,便诚惶诚恐承认错误退出来。可是今晚上不然。

からには偶尔也可能出现“からは”的表达方式,“以上”也可能出现“以上は”的表达方式。

## 2. 意义